

茂林寺 景吳筆塚

この「景吳筆塚」は、館林市にある、分福茶釜の物語で有名な茂林寺境内の参道に面して建てられています。

書は 西脇雲石先生によるもので、碑陰記によると、文化書道学会会長西脇吳石先生を思慕して、文化書道北関東支部連合会、文化書道茂林寺支部墨竹会、茂林寺三十九世正山代によって昭和 47 年 8 月 6 日に建立されたものです。



また茂林寺には、吳石先生の詩と南画を収めた八面屏風が収蔵されています。



(この屏風は、通常、一般公開はされていません)

- 場所 群馬県館林市堀工町1570 茂林寺境内
交通 ■ 東武伊勢崎線茂林寺前駅より徒歩 7 分
■ 東北自動車道館林 I.C.より約5Km